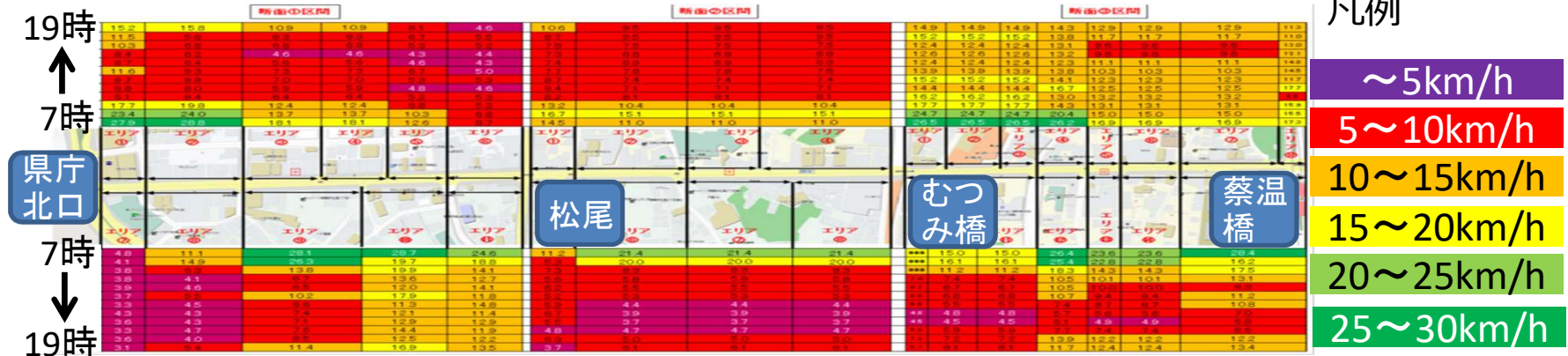


実験実施の背景

- 国際通りは、多くの観光客を惹きつけ、那覇市のみならず沖縄県の「顔」となっている。
- 恒常的に渋滞が発生



出展：沖縄総合事務局
民間プローブデータ(平成28年6月~12月)における旅行速度の分析

- 市民の感じる課題、観光客からの声

【市民】(「那覇市国際通りトランジットモールビジョン(将来像)報告書(H29.3月)」より)

- 路上駐車・荷捌きでの渋滞(40%)・駐車場不足(37%)・自動車利用が不便(30%)
- 人通りが少ない(13%)

【観光客の印象】(沖縄総合事務局アンケートより)

- 路上駐車が多く運転しづらい印象がありました。路上駐車のおかげで渋滞も少し多くなっているのでは？(福岡県 20代 女性)
- 那覇市内は交通渋滞が激しく、観光をするにあたって、移動時間で大きく時間が取られてしまったという印象がある。もう少し交通渋滞が緩和される方法はないでしょうか。(東京都 20代 女性)

- 運送事業者における人手不足の深刻化

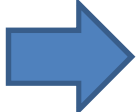
対策として共同配送等を実施

①荷捌き車両の台数の減少を図る

→**共同配送による荷捌き車両の集約化**

②走行を阻害する違法駐車車両の減少を図る

→**違法駐車車両に対する声掛け**

 ・国際通りにおける交通渋滞の緩和効果
・持続可能な共同配送システムを検証する